

## 「CSJ カレントレビュー」 50 巻を達成しました

2010年4月に「CSJ カレントレビュー」の第1巻が発行されてから今年で14年目を迎えます。今春に第50巻が刊行され、これをもってこのシリーズの発刊を終了させていただくことになりました。

この間、多くの方々にご支援をいただき、読者の方からも有益なご意見をいただきました。次章に50巻分のタイトル等を示してあります。

本シリーズのまとめとして、本の特徴、気が付いたことなどを簡単に報告させていただきます。

「CSJ カレントレビュー」という化学総説は日本化学会が刊行してきた「化学総説」(1978～1986年)と「季刊化学総説」(1988～2001年)の後継本として誕生したものです。基本コンセプトは「読みやすい」、「興味が持てる」、「役に立つ」をキーワードにしてきました。専門以外の分野にも興味をもっていただけるように、読みやすくわかりやすく解説したつもりです。

本の構成は、最初に全体を理解していただくために、カラフルな図や写真を入れたグラフィカルアブストラクトがあり、内容は3部構成になっています。

Part 1では、インタビューや座談会を含めた基礎概念と研究現場を記載しました。当初、「フロントランナーに聞く」記事を載せていましたが、人数も多く、その後は座談会の形式としました。

Part 2では、研究最前線として最先端の研究を十数件選び、第一線の研究者に解説していただきました。

Part 3では、論文をはじめ、この分野で役立つ情報やデータを紹介しました。

総説等の選び方、読み方は人それぞれですが、自分の研究に関連した本以外は手に取ることが少ないかもしれません。いろいろなタイトルの本が備わっていれば読んでみることもあるでしょう。以前は前述の総説等、全巻をそろえている図書館や研究室

などが多く見受けられました。

最近では本を見るよりもまずネットで調べ、必要に応じて文献を探す方が主体となり、情報をピンポイントで取ろうとする傾向があります。

「CSJ カレントレビュー」は関連する分野の様々な方たちが最先端の話を交えて伝えてくれるシリーズ本です。1冊の本だけでなく、何冊かの本を読み比べていただきたい。そこからインスピレーションや新しいアイデアを持つためにも非常に役立つシリーズと思っています。

ご意見をいただいても達成できず、心残りのものもあります。例えば、海外の先生や留学生から英文での発行を要望されました。また、Part 2の研究最前線では特許の関係で企業の方の執筆が難しい場合もありました。

最後にご多忙中にもかかわらずご協力いただいた執筆者の方々に深く御礼申し上げます。座談会のセッティングや編集等多大なご尽力をいただいた化学同人の梶井文子様、佐久間純子様、厚く御礼申し上げます。また、日本化学会事務局の中谷敏幸様、石崎静香様に大変お世話になりました。ありがとうございました。

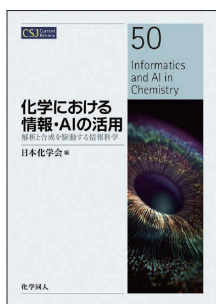
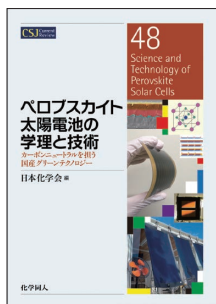
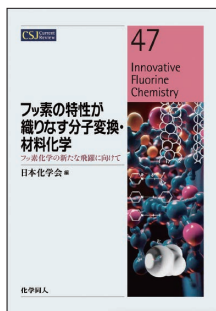
CSJ カレントレビュー編集委員会一同

## CSJ カレントレビュー 一覧

発売・照会先：化学同人

(電話 075-352-3373)/B5判〔定価(円)〕

1. 驚異のソフトマテリアル 最新の機能性ゲル研究 [4,180]
2. 人工光合成と有機系太陽電池 最新の技術とその研究開発 [4,180]
3. 革新的な多孔質材料 空間をもつ機能性物質の創成(品切)
4. 新しい局面を迎えた界面の分子科学 機能デザインと計測技術の展開 [4,180]
5. 不活性結合・不活性分子の活性化 革新的な分子変換反応の開拓 [4,180]
6. 核酸化学のニュートレンド DNA・RNAの新たな可能性を拓く [4,180]



CHEM×STORY は化工誌編集幹事会の企画・監修により制作されています。

7. 高分子と光が織りなす新機能・新物性 光機能性高分子材料の新展開 [4,180]
8. 巨大分子系の計算化学 超大型計算機時代の理論化学の新展開 [4,180]
9. 金属および半導体ナノ粒子の科学 新しいナノ材料の機能性と応用展開 [4,180]
10. ここまで進んだバイオセンシング・イメージング 1分子から細胞、脳まで[4,180]
11. 未来を拓く元素戦略 持続可能な社会を実現する化学 [4,180]
12. 未来材料を創出する  $\pi$  電子系の科学 新しい合成・構造・機能化に向けて[4,180]
13. キラル化学 その起源から最新のキラル材料研究まで [4,180]
14. 放射光が拓く化学の現在と未来 物質科学にイノベーションをもたらす光[4,180]
15. 次世代のバイオ水素エネルギー 再生可能エネルギーの創出と変換をめざして [4,180]
16. スピン化学が拓く分子磁性の新展開 設計から機能化まで [4,180]
17. 極限環境の生体分子 過酷な環境下での機能を科学する [4,180]
18. 強光子場の化学 分子の超高速ダイナミクス [4,620]
19. 生物活性分子のケミカルバイオロジー 標的同一と作用機構 [4,620]
20. 精密重合が拓く高分子合成 高度な制御と進む実用化 [4,620]
21. 活性酸素・フリーラジカルの科学 計測技術の新展開と広がる応用 [4,620]
22. 有機分子触媒の化学 モノづくりのパラダイムシフト [4,620]
23. 先端計測 研究を支える機器開発 [4,620]
24. 医療・診断・創薬の化学 医療分野に挑む革新的な科学技術 [4,620]
25. 二次元物質の科学 グラフェンなどの分子シートが生み出す新世界 [4,620]
26. 分子マシンの科学 分子の動きとその機能を見る [4,620]
27. 天然有機化合物の全合成 独創的なものづくりの反応と戦略 [4,620]
28. 持続可能性社会を拓くバイオミメティクス 生物学と工学が築く材料科学[4,620]
29. 構造制御による革新的ソフトマテリアル創成 ブロック共重合体の精密階層制御・解析・機能化 [4,620]
30. 生命機能に迫る分子化学 生命分子を真似る、飾る、超える [4,620]
31. 分子アーキテクニクス 単分子技術が拓く新たな機能 [4,620]
32. プラズモンと光圧が導くナノ物質科学 ナノ空間に閉じ込めた光で物質を制御する [4,620]
33. 超分子ポリマー 超分子・自己組織化の基礎から先端材料への応用まで [4,620]
34. 持続可能社会をつくるバイオプラスチック バイオマス材料と生分解性機能の実用化と普及へ向けて [4,620]
35. 有機・無機材料の相転移ダイナミクス 数値から未来の材料開発まで[4,620]
36. 生体分子反応を制御する 化学的手法による機構と反応場の解明 [4,620]
37. 高機能性金属錯体が拓く触媒科学 革新的分子変換反応の創出をめざして[4,620]
38. 光エネルギー変換における分子触媒の新展開 天然光合成を凌駕する反応系の構築を目指して [4,620]
39. 生体分子と疾患 ヘルスサイエンスの切り札としての化学 [4,620]
40. 未来を拓く多彩な色素材料 エレクトロニクスから医科学にまで広がる色素の世界 [4,620]
41. 進化を続ける核酸化学 ゲノム編集、非二重らせん、核酸医薬 [4,620]
42. 赤外線化学利用 近赤外からテラヘルツまで [4,620]
43. 有機光反応の化学 光が誘起する電子移動・触媒系・有機合成 [4,620]
44. モビリティ用電池の化学 リチウムイオン二次電池から燃料電池まで [4,620]
45. 生体分子環境の化学 分子夾雑と1分子で解き明かす生体の挙動 [4,620]
46. 持続可能な社会を支えるゴム・エラストマー 新素材・自己修復・強靱化と最先端評価技術 [4,620]
47. フッ素の特性が織りなす分子変換・材料化学 フッ素化学の新たな飛躍に向けて [4,620]
48. ペロブスカイト太陽電池の学理と技術 カーボンニュートラルを担う国産グリーンテクノロジー [4,620]
49. 固体材料開発のフロンティア 熱力学的支配を超えた物質合成と新機能開拓を目指して [4,620]
50. 化学における情報・AIの活用 解析と合成を駆動する情報科学 [4,620]

CSJ カレントレビュー編集委員会  
委員長：大倉一郎（東工大） 委員：岩澤伸治（東工大）、栗原和枝（東北大）、杉本直己（甲南大）、高田十志和（広島大・東工大）、南後 守（阪公大）、西原 寛（東理大、東大）